

スーパーマップル・デジタル

『MAPPLEルートナビゲーター』とデータ連携する方法

(マニュアル上の記載は『ルートナビゲーター』)

CONTENTS	ページ
A : 『ルートナビゲーター』の情報を取込み、編集	1
B : 『ルートナビゲーター』に取込めるKML形式で出力	4
C : 『ルートナビゲーター』の「ルート(線)」や地図上に表示する「注意地点(文字)」を作成	5
D : テキスト情報を取込みルートを作成	
D-1 : テキスト情報を取込み、座標位置を設定	9
D-2 : 保存されたカスタム情報でルートを作成	13
『付録』 : スーパーマップル・デジタルの【設定】やデータの【プロパティ】の使い方	16

【ご注意】

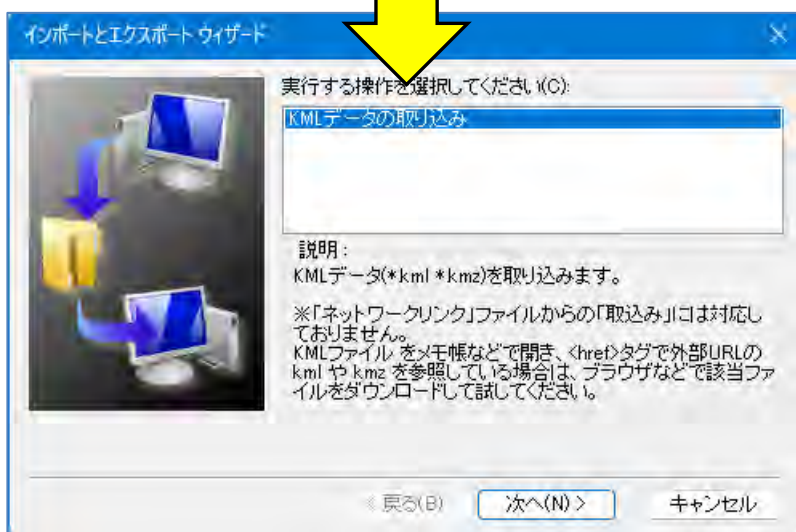
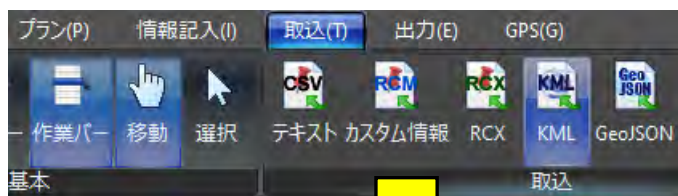
・このマニュアルの内容、画像は「スーパーマップル・デジタル24」をベースに記載しております。

旧バージョンでは、「KML」ファイルの対応や連携で、本稿の記載どおりにならない可能性があります。

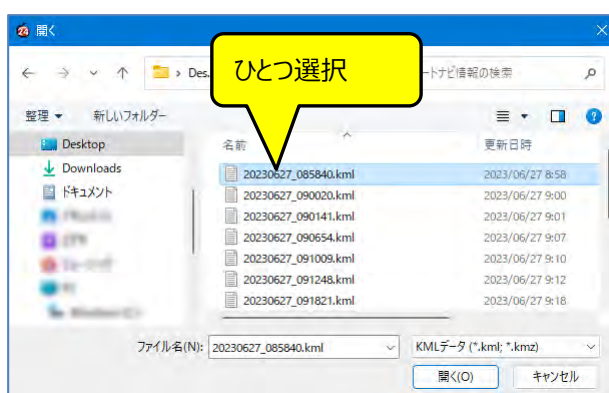
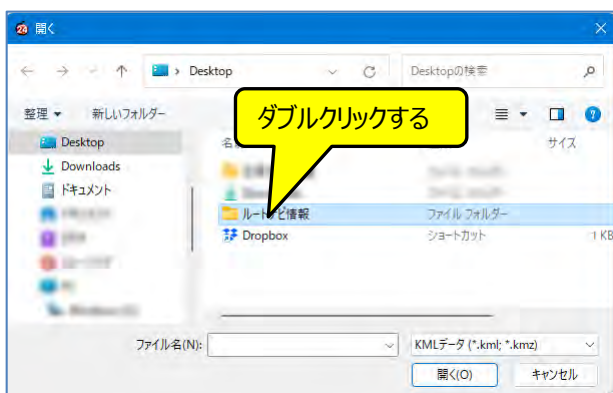
また、道路情報の更新等もありますので、最新のスーパーマップル・デジタルのご利用をお勧めします。

A : 『ルートナビゲーター』の情報を取込み、編集します。

- ① 『ルートナビゲーター』から出力された [KMLファイル] を取込みます。
 - ・ [取込] の [KML] を選択し、[ウィザード] が表示されたら [次へ]



- ② 『ルートナビゲーター』から [出力] された [フォルダー] をダブルクリックし、編集するファイルを選択し、[開く] の [OK] をクリックします。



- ③ 『スーパーマップル・デジタル』に取込まれます。
 ・名称欄に取込まれた【ファイル名】が表示され、ダブルクリックで地図が移動し、「ルート線」が表示されます。



【ポイント】



複数のデータを取込む場合は、②の操作を繰り返します。

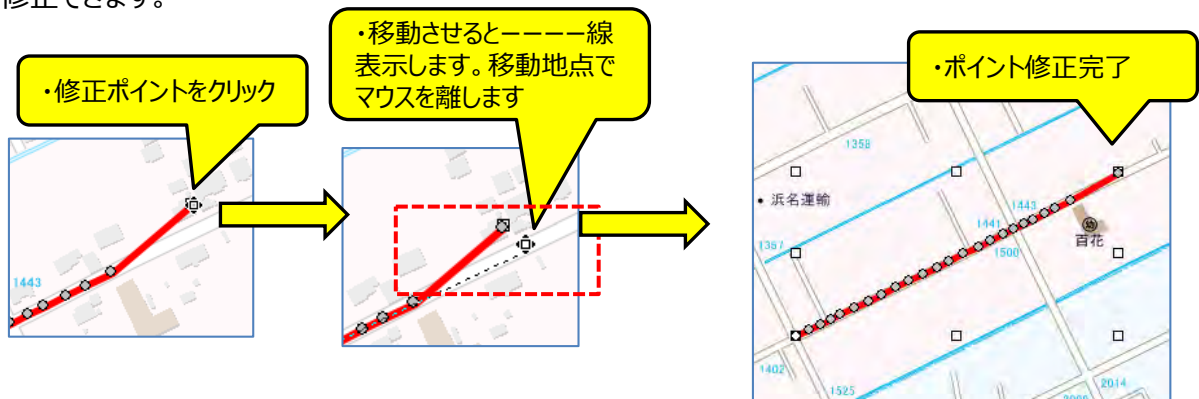
- ④ 若干乱れた「ルート線」を修正します。





- ・ (選択)アイコンで修正する「ルート線」を選ぶか [名称] 欄の「ファイル名」をクリックしてください。線上に○ポイントが表示されます。この○印を移動して線を修正します。

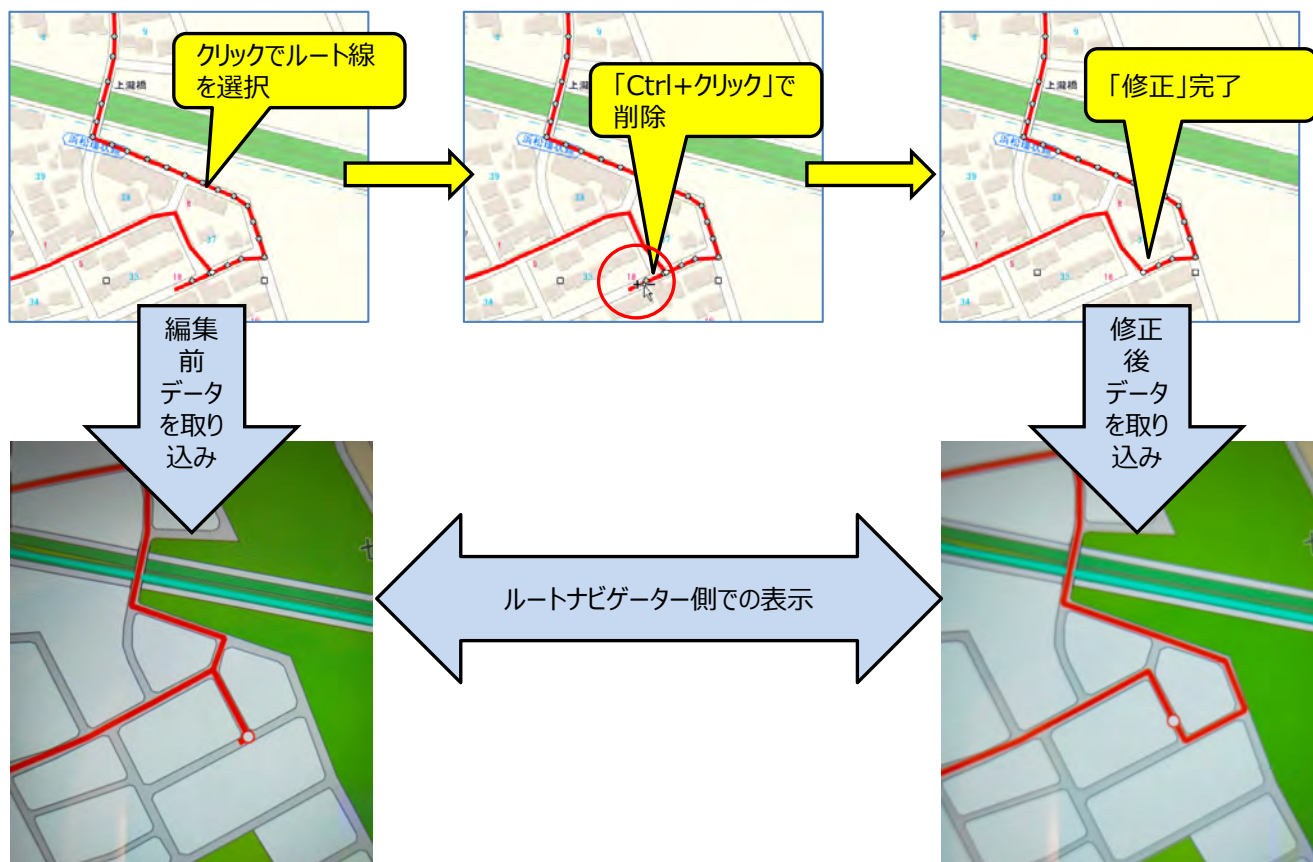


- ⑤ 修正したいポイントをクリックするとマウスが  に変わり、 の状態のままで移動させると、ポイントが修正できます。



⑥ 運送時などで、道の間違いを編集で正しい道順に修正します。

・修正したいルート線を  (選択)アイコンをクリックし、「Ctrl」を押しながら、削除するポイントにマウスカursorを置くとカーソルが  に変わりクリックで削除します。



【選択】アイコンを使用中は、下記の「操作ガイド」が表示されますので、参考にしてください。

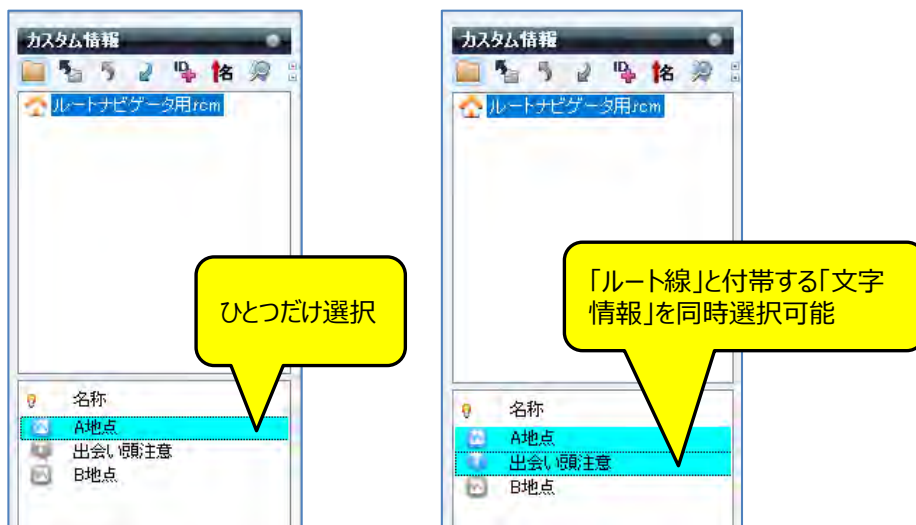
要素を	ドラッグ	移動
要素ドラッグ終了地点で	Ctrl+マウス離す	要素のコピー
アンカーを	ドラッグ	変形(直線・矩形・円・折れ線)
折れ線の点を	ドラッグ	点移動
折れ線の点を	Ctrl+クリック	点の削除
折れ線の線分上を	Ctrl+クリック	点の追加
2本の折れ線の端点を	Alt+クリック	折れ線の接合
折れ線の開始点と終了点を	Alt+クリック	折れ線を閉じる
多角形の外形線上を	Shift+Alt+クリック	多角形を開く

・『ルートナビゲーター』上で期待したルート探索結果が表示されるように、点の移動、追加、削除を行ってください。

⑦ 修正されたルート線は「B:『ルートナビゲーター』に取込めるKML形式で出力します。」を参考に[出力]します。
 ※データ保全の為、情報をカスタム情報ファイル(.rcm)で保存します。

B : 『ルートナビゲーター』に取込めるKML形式で出力します。

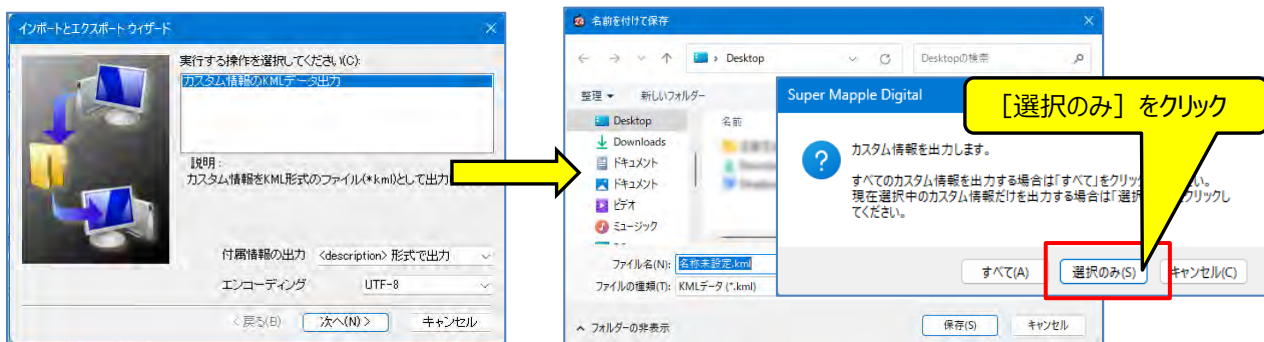
- ① [作業バー] の [カスタム情報] 欄の [名称] 欄から、出力する「ルート線」や「文字情報」を選択します。
 ※ルート線は複数の選択はできません。
 ・ ルート線は一つずつ選択し出力します。また、文字情報はルート線に付帯する情報を同時選択できます。



- ② [出力] の [KML] を選択します。



- ③ [出力] の [KML] を選択し、任意のファイル名を入力します。
 ポイント： [保存] の後、出力の対象選択が表示されますので [選択のみ] 選択します。



C:『ルートナビゲーター』の「ルート(線)」や地図に表示する「注意地点(文字)」を作成する
 ※スーパーマップル・デジタルで作成されるルートはあくまで参考ルートです。
 確定はルートナビゲーターで確認し実走の上、確定します。

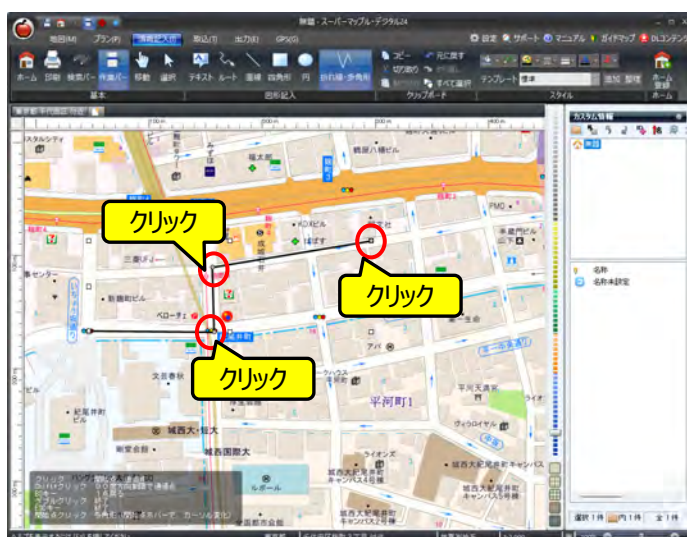
① [情報記入] の [折れ線・多角形] で『ルートナビゲーター』用の「ルート」作成を行います。



【重要】

スーパーマップル・デジタルでは『ルートナビゲーター』との形式に違いがあるため、[プラン] や [情報記入] の [ルート] では作成はできませんので、ご承諾ください。

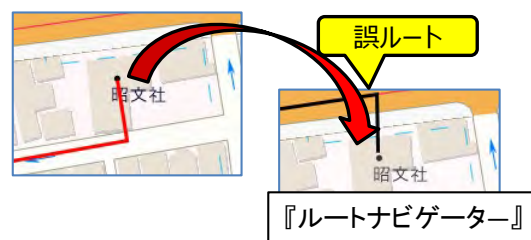
② スタート地点から目的地まで [折れ線・多角形] で道路上で、走行経路に沿って線を引きます。



【ポイント&注意】

ルート線を引くとき、地点を必ず、道路の上から引いてください。

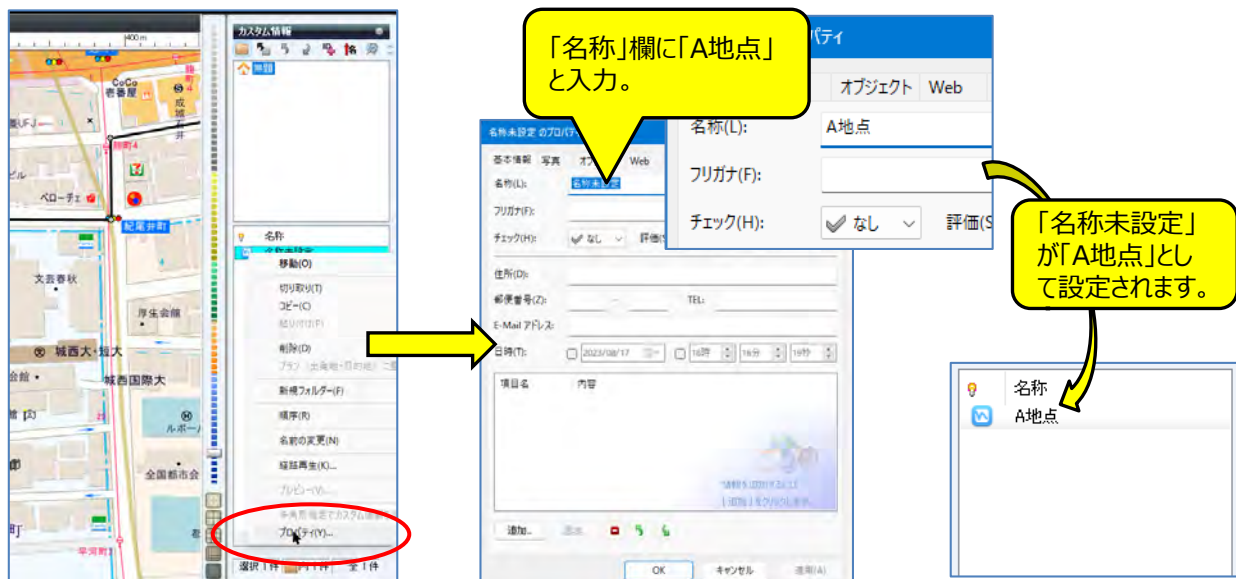
※下図のように、建物などを起点や終点にすると、『ルートナビゲーター』側で、正しいルートを確認できない場合があります。



③ 「キーボードの矢印キー」か、地図画面の端にマウスを持っていくと、画面がスクロールし、地図が移動します。到着地点で「ダブルクリック」すると、「ルート」が完了します。




- ④ 画面右側の【カスタム情報】欄の【名称】欄の「名称未設定」を、ルート線に「名称」の設定をします。
 「名称未設定」を右クリックし、【プロパティ】を選択して、名称を入力して【OK】で名称が設定されます。




【ご注意】

ルート線は閉じないでください。「線」ではなく「面」の扱いになり、『ルートナビゲーター』で認識できなくなります。
 ※下記の図参照

※「折れ線」ではなく「多角形」になる  カーソルの表示

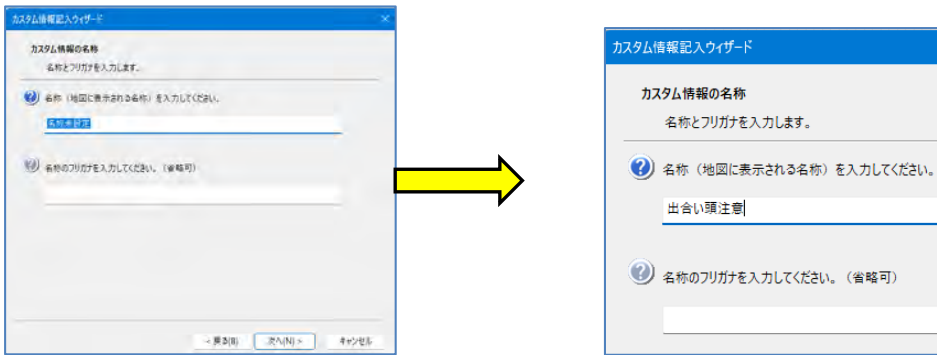


「ルート線」設定中に「カーソル」が  に変化したら「線」ではなく、「面」としての多角形になり、『ルートナビゲーター』で認識できなくなります。

- ⑤ 『ルートナビゲーター』の地図上の地点に文字情報表示には、[情報記入] の [テキスト] を選択し、地図上にマウスカーソルをもっていくと、 の形になりますので、任意の地点でクリックします。
[カスタム情報記入ウィザード] が表示されますので、[文字情報の入力] を選択し [次へ] をクリックします。



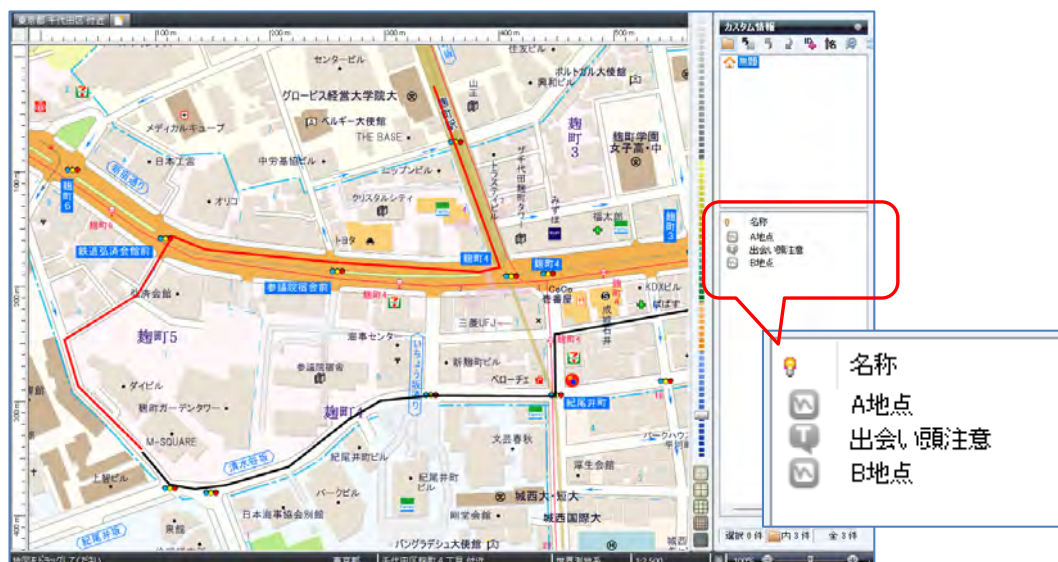
- ⑥ カスタム情報に設定する名称を入力したら、他の項目は『ルートナビゲーター』では使用しませんので、連続して [次へ] をクリックし [完了] します。（例：「出会い頭注意」の文字）



- ⑦ ルート線の [名称] は「A地点」、地図上に表示する文字情報は「出会い頭注意」が作成されます。



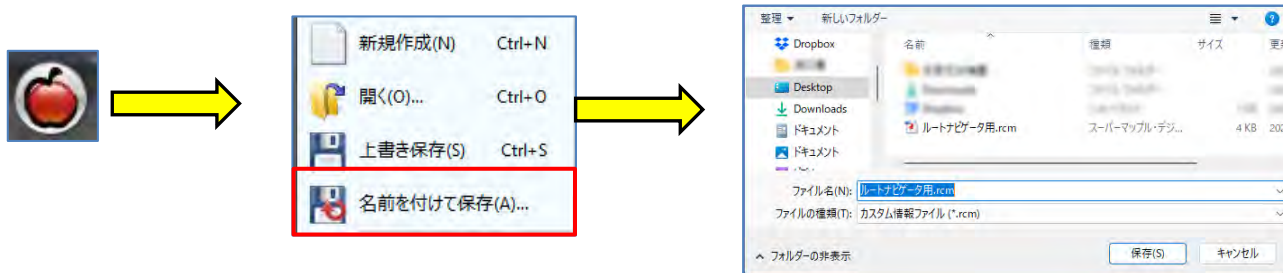
- ⑧ 続いて、次の地点のルートを作成します。
A地点からB地点へ②で行った操作を繰り返します。（例：B地点まで判りやすいよう赤線表示）



【ポイント】

ルート線は地点間を一つのルートとして作成します。
複数の地点を移動する場合は複数のルートを作成します。
10の地点を移動する場合は、10のルート線が必要になります。

- ⑨ ルート線、文字情報の作成が完了しましたら、データをカスタム情報ファイルとして保存することをお勧めします。
画面左上の [リンゴ] アイコン⇒ [名前を付けて保存] ⇒例：「ルートナビゲーター用」⇒ [保存]



【ご注意】

『スーパーマップル・デジタル』で作成されたルート線は、交通規制などが反映されていない箇所があるため、参考ルートです。
必ず『ルートナビゲーター』に取込んでルートを確認して下さい。

D : テキスト情報を取込みルートを作成する

D-1 : テキスト情報を取込み、座標位置を設定します

「マイクロソフト エクセル」の「XLSX形式」などで管理している、顧客先/運送先などのデータをスーパーマップル・デジタルに、カスタム情報として取り込むことができます。

	A	B	C	D	E
1	顧客台帳_顧客名	顧客台帳_	顧客台帳_	顧客台帳_	顧客台帳_住所3
2	店舗番号	158-0082	東京都	練馬区	北町 1-35-6 大木ビル1F
3	〒町地	166-0001	東京都	板橋区	上板橋 1-24-5
4	郵便番号	130-0026	東京都	板橋区	志村 1-35-12 グラフンシャイ1階
5	営業	102-0071	東京都	板橋区	南常盤台1-30-1

【🍎 参考】一度に取り込めるデータは、データ内容(量)とご利用のPC性能によりますが、約1万件程度可能です。

① スーパーマップル・デジタルを起動し、[取込]タブの[テキスト]をクリックします。



② 「テキスト情報への取り込み」を選択し、[参照]をクリックして「取込む」ファイルを選択し、[開く]をクリックします。

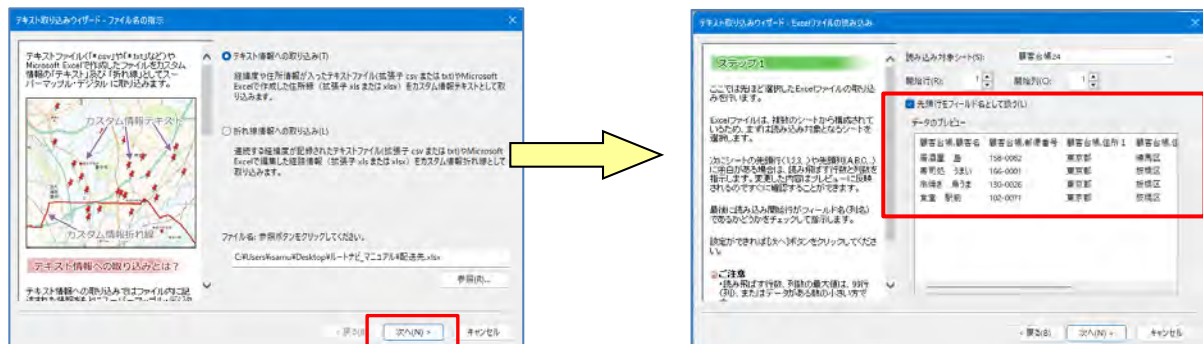


③ 「ファイル名」を確認後、「次へ」をクリック。

[ステップ1] で、【データのプレビュー】を確認し [開始行] [開始列] で項目名が先頭行になるよう設定します。

★[先頭行をフィールド名として扱う]の意味は

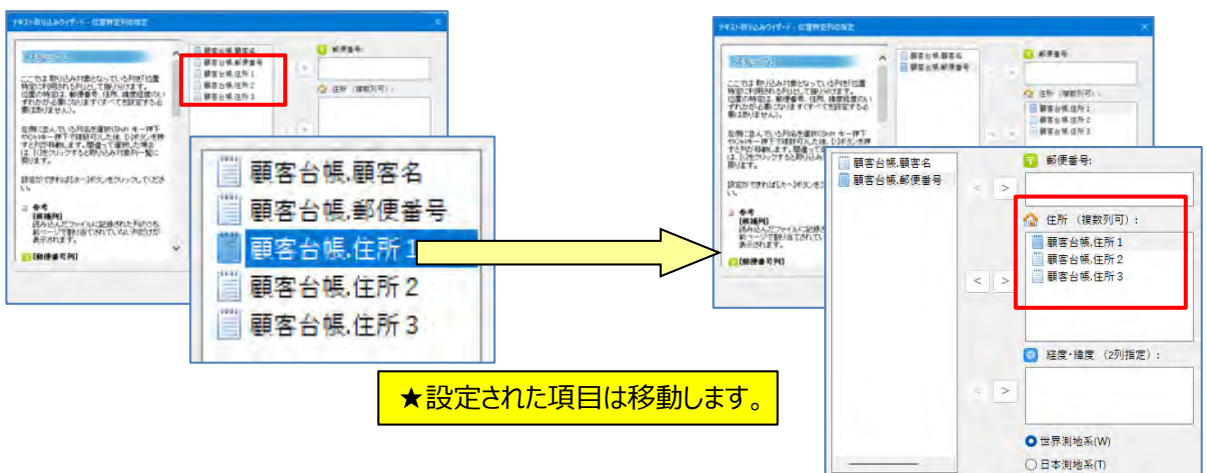
- ・先頭行をフィールド名（項目名）として取り込みます。
- ・先頭にフィールド名が無い場合は、自動的にフィールド番号が付与されます。



④ [ステップ2] は、各列（項目名）のデータ形式の確認をしますが、今回はテキスト形式でOKです。

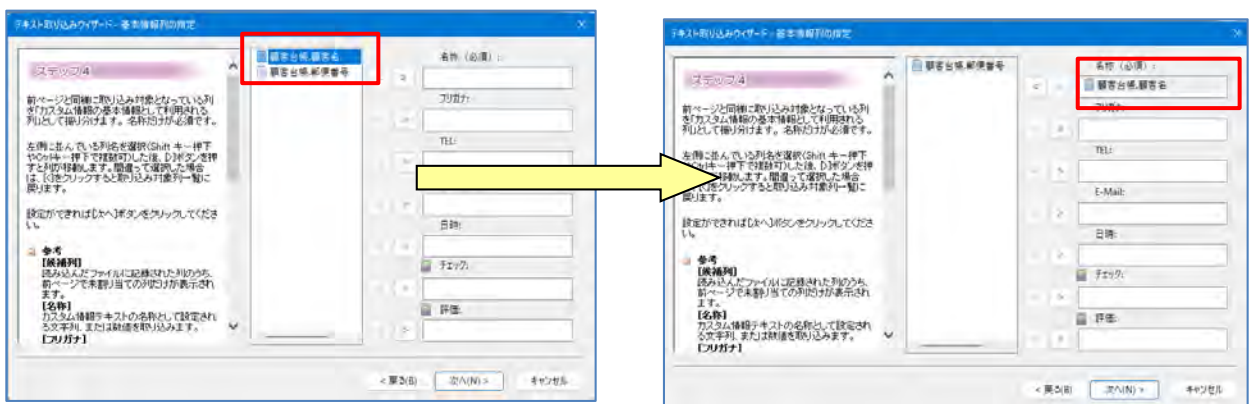


⑤ [ステップ3] は、表示位置を特定するために、今回の例では「住所1、住所2、住所3」を移動します。
 ※「住所」一つの項目に記載されている場合は、ひとつの項目の移動で「OK」です。

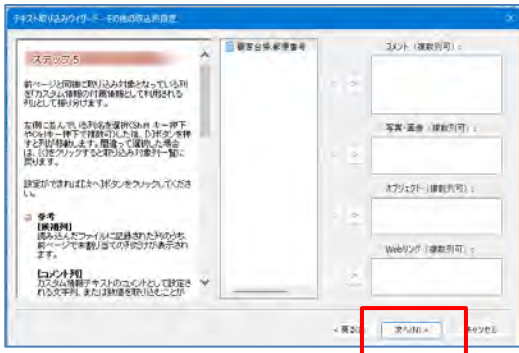


【重要】テキストファイルの取り込みでは、名称、表示位置（郵便番号、住所、経度緯度）の設定が必須です。

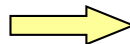
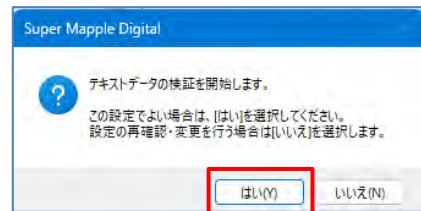
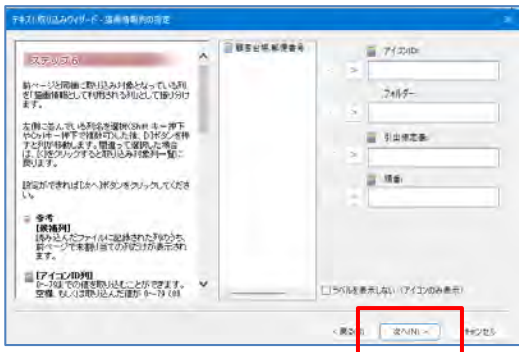
⑥ [ステップ4] は、名称（必須）を移動します。その他の項目は必要ないので「次へ」をクリックします。



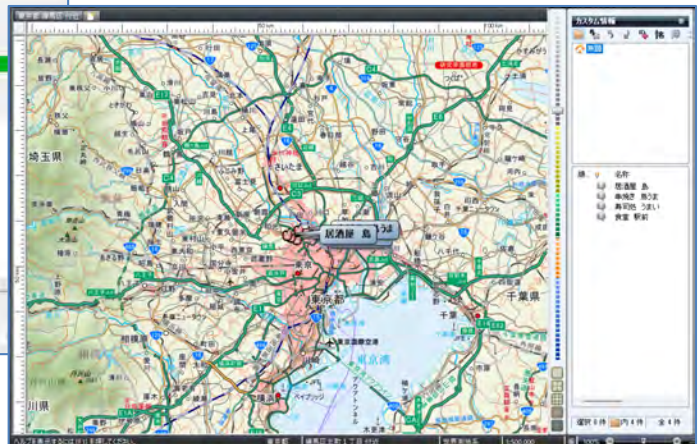
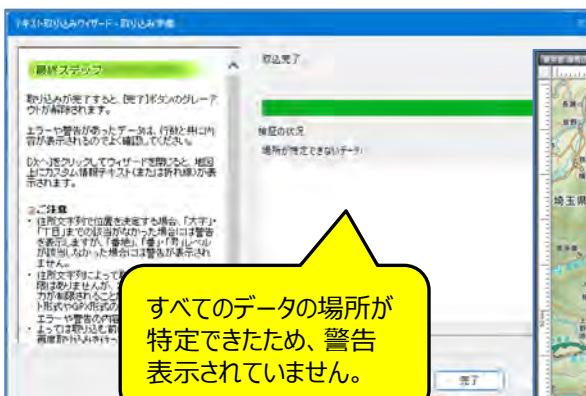
⑦ [ステップ5] は、使用しませんので [次へ] をクリックします。



⑧ [ステップ6] も、使用しませんので [次へ] 。検証開始で [はい] をクリックすると、テキストデータを検証し、取込みを開始します。



⑨ [最終ステップ] は、取込み後の状況を表示します。
※カスタム情報として保存し、ルート線作成に活用します。

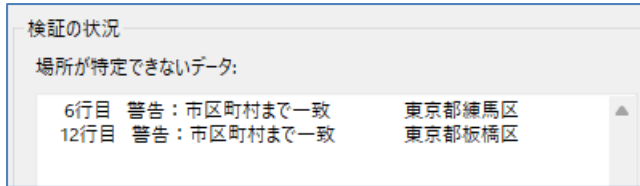


・スーパーマップル・デジタル内の住所情報データベースと照合し、「大字」「市区町村」のレベルの一致にとどまった場合には警告を表示します。（「番地」、「番」・「号」レベルまで一致した場合は警告を表示しません。）

【🍏 住所による、取り込みについてのご注意】

・地域により、住所表記の特性や、住所体系が異なることもありますので、警告の表示内容も異なってくる場合がございますこと、ご了承ください。

⑩ 住所情報の不備などにより、[場所が特定できないデータ] が存在した場合は、地図上で「位置」を修正します。




⑪ (選択)アイコンで特定できていないデータをクリックし、正しい位置に「移動」します。

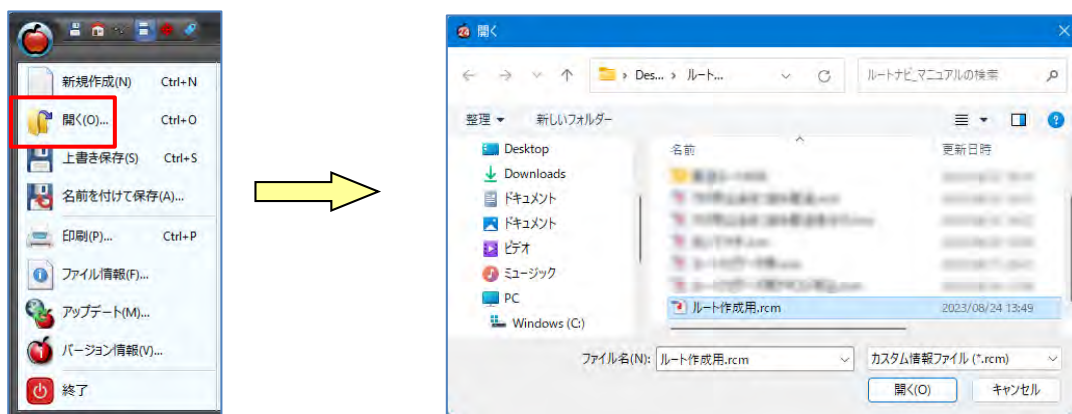


【場所が特定できない場合の「取込位置」】

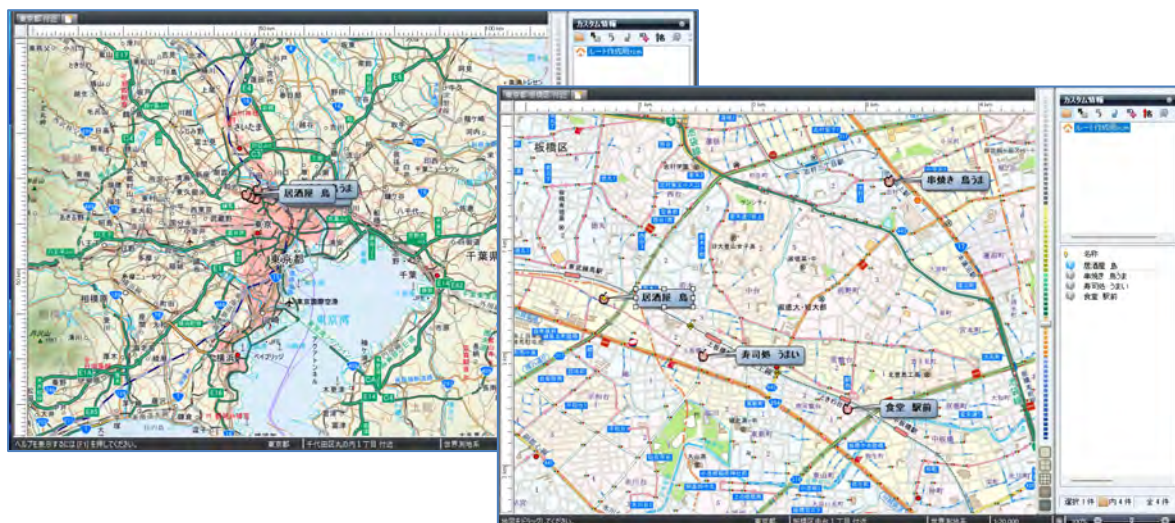
- ・「都道府県」レベルの場合は、「都道府県庁」の場所に表示。
- ・「市区町村」レベルの場合は、「市区町村役所・役場」の場所に表示
- ・「町丁目」の場合は、地図に記載されている、「町丁目」の位置に表示

D-2 : 保存されたカスタム情報でルートを作成する


- ① スーパーマップル・デジタルを起動し、 アイコンをクリックの [開く] で該当のファイルを選択します。

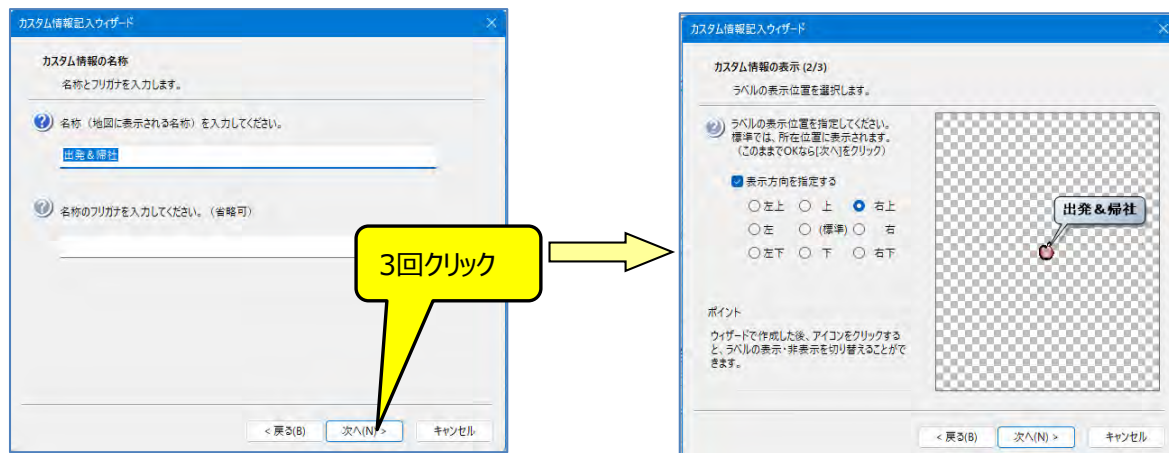


- ② 表示された地図を見やすいように「拡大」「移動」します。



- ③ 「配送先」が地図上に表示されていますので、「出発/帰社」地を登録します。

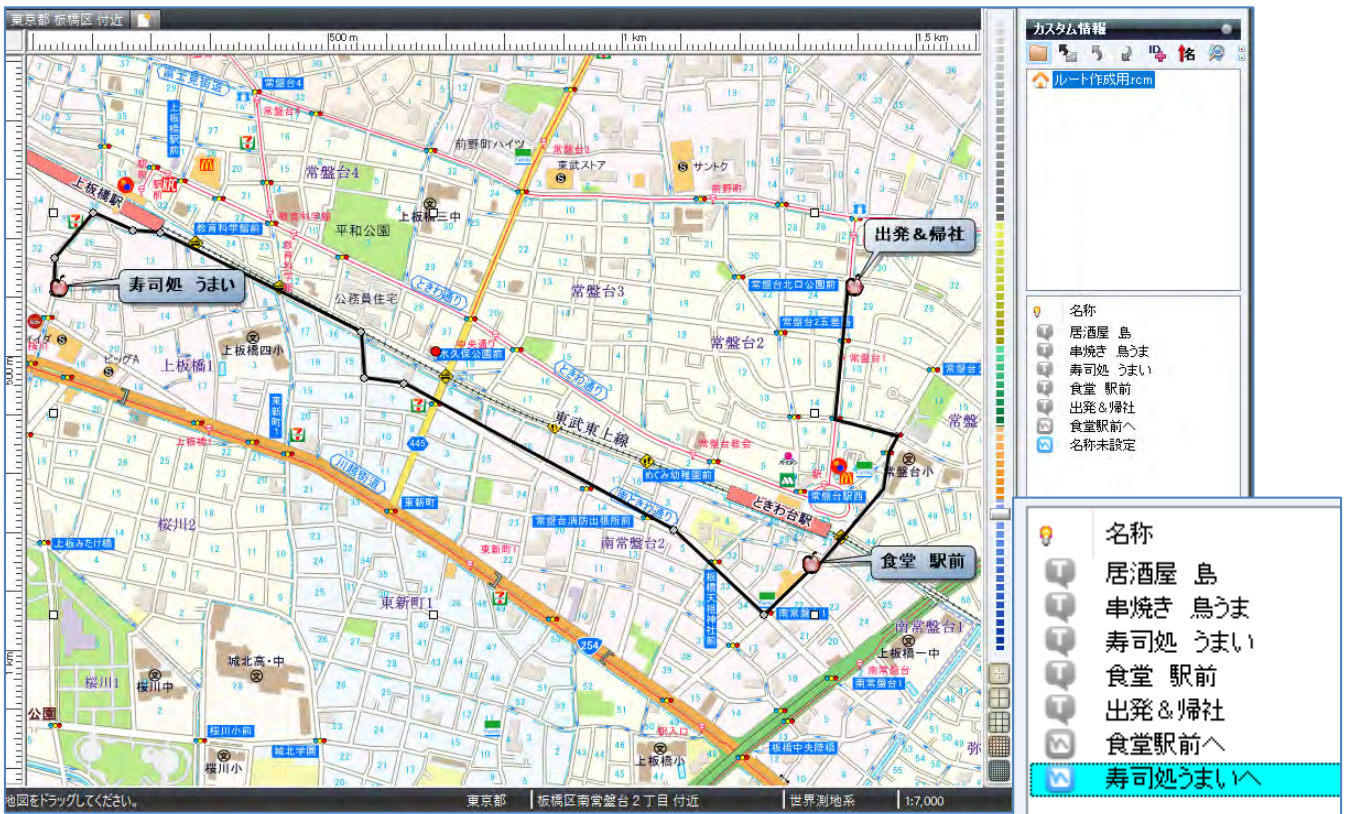
- ・ [情報記入] の [テキスト]  で「P7の⑤」と同じように地図上に、「出発/帰社」地を追加し、[次へ] を3回クリックして [カスタム情報の表示(2/3)] にて [表示方法] を [右上] にし (見やすくなります) 、 [次へ] 、 [完了] と進めます。



④ 「出発&帰社」の位置から「折れ線・多角形」で、最初の配送先へ「ルート線」を引くと、[名称] 欄に (線表示アイコン)「名称未設定」が表示されますので、右クリックして「名前の変更」で「名称」を記入します。



⑤ ④と同様に、次の配送先へルート線を引いて [名称] を記入します。



⑥ 配送先の「ルート」が作成されます。「保存」します。



【ご注意】

『スーパーマップル・デジタル』で作成されたルート線は、交通規制などが反映されない箇所もある参考ルートです。必ず『ルートナビゲーター』に取込んでルートを確認して下さい。

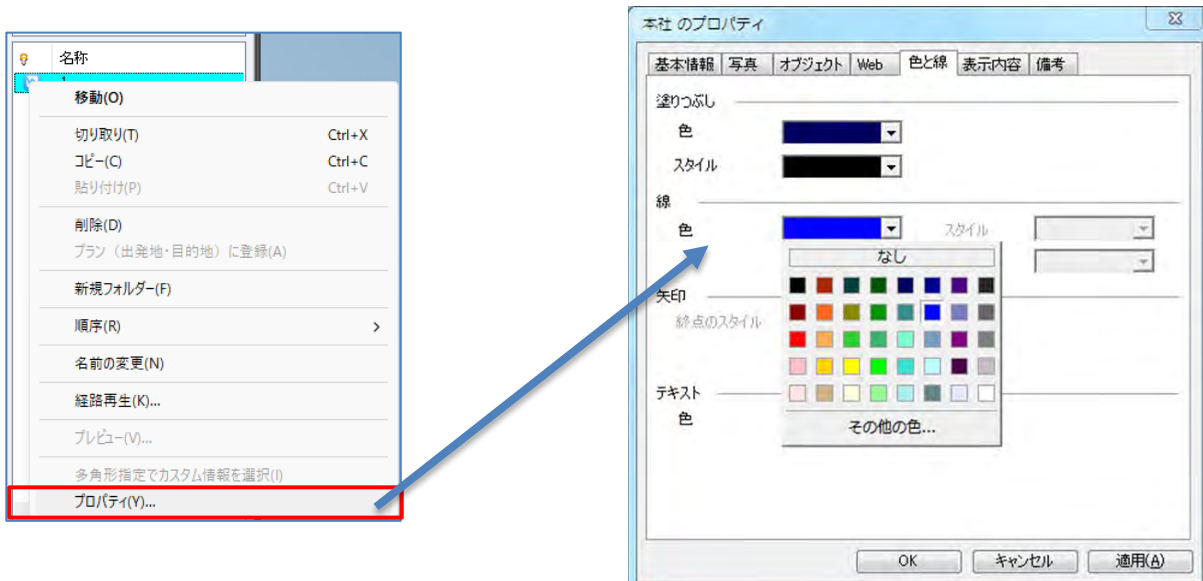
⑦ ルートナビゲーターへの出力は、「P4のB：『ルートナビゲーター』に取込めるKML形式で出力します」をご参照ください。

『付録』: スーパーマップル・デジタルの[設定]やデータの[プロパティ]の使い方。

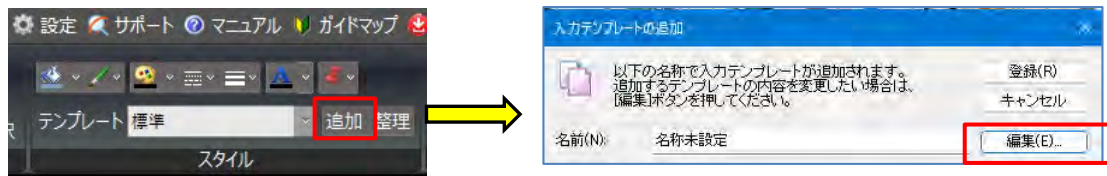
- ① スーパーマップル・デジタルの画面右上の[設定]を選択すると、各種の動作設定ができます。
 ※例: [地図・その他]の最下部にある「情報記入時の操作ガイド」をOFFにすると、操作ガイドが非表示となります。



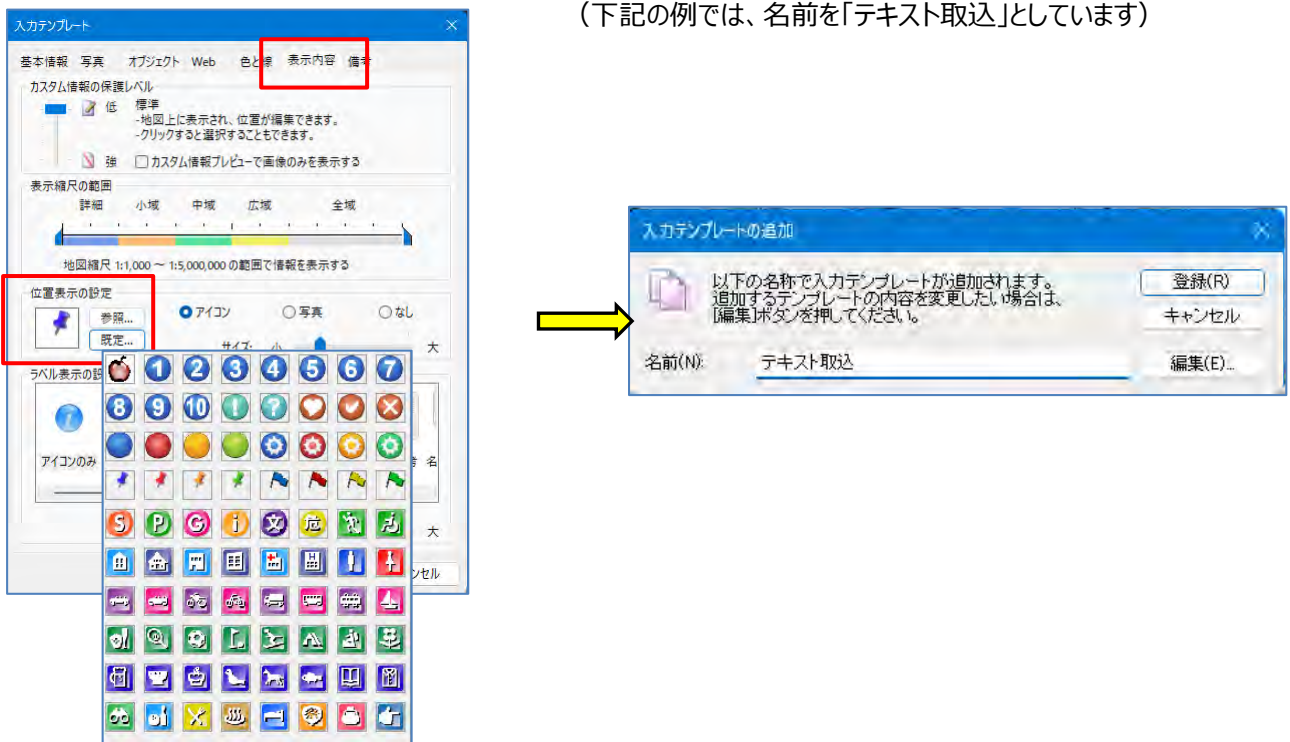
- ② ルート線や文字情報の[色と線]など変更するときには、カスタム情報欄の名称を右クリックし、[プロパティ]を選択して[色と線]タブから設定します。
 また、表示アイコンなどを変更・設定する場合は[表示内容]タブをから設定してください。



- ③ テキストデータなどの取込前に、[情報記入]の[テンプレート]を作成しておく便利です。
 ・ [テンプレート] の [追加] ⇒ [編集] をクリックします。



- ・ [表示内容] タブ⇒ [位置表示の設定] の [既定] でアイコンを標準の「リンゴ」からご希望のアイコン (例：「ピン」など) に変更して [OK] をクリックし、テンプレートの「名前」を付けて [登録] します。
 (下記の例では、名前を「テキスト取込」としています)



- ・ 上記の例の場合、テキストデータの取込み時に [テンプレート] で「テキスト取込」を選択すると、アイコンは標準の「リンゴ」ではなく、登録したもの (上記例では「ピン」) で表示されます。



以上